

第52回 神奈川県消化器病医学会総会 プログラム

〔日 時〕 2019年11月30日(土)

13:00～17:54

〔会 場〕 新横浜プリンスホテル 4階「桜川」

〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4

TEL：045-471-1111(代表)

当番世話人：昭和大学藤が丘病院 消化器内科 教授

長濱 正亞

主 催：神奈川県消化器病医学会

お知らせ

拝啓

神奈川県消化器病医学会は、昭和37年5月に実施医家を中心として誕生した学会です。

私は昨年11月より神奈川県消化器病医学会の会長を引き継がせて頂き、新たな体制にて1年が経過しました。

本会は400名を超える神奈川県全域の消化器系医師にて構成されており、県の医師会のバックアップの下で健全な運営を行なっています。財務上の面も安定しつつあり、ようやく軌道に乗ってきたのではないかと思います。

毎年、研究会と総会を交互に行っており、春には実施医家の先生方中心に県内を6地区に分け順番に研究会の当番世話人をお願いしており、秋には大学の教授の先生方に総会の当番世話人をお願いしております。

第52回神奈川県消化器病医学会総会は昭和大学藤が丘病院 消化器内科教授 長瀆正亜先生に当番世話人をお願い致しました。一般演題が22題で、特別講演は国立がん研究センター東病院の橋本裕輔先生に「人工知能を用いた医療デバイスの開発～肝胆膵領域を中心に～」についてお話をさせていただくことになりました。また、ワークショップは「高齢者に対する内視鏡診療の現状と課題」のテーマにて、座長は昭和大学藤が丘病院 山本頼正先生をお願いしました。最新の話題が聞けるのを楽しみにしています。

また、一般演題は興味深い症例発表が多く、会員の先生方にも今回の内容にご満足頂けるのではないかと考えております。さらに本会は若手医師の育成の場のようになっていますので是非とも会員の先生にも積極的なご参加・ご指導をお願い申し上げます。

令和元年11月吉日

敬 具

神奈川県消化器病医学会

会 長 前 田 慎

事務局 〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

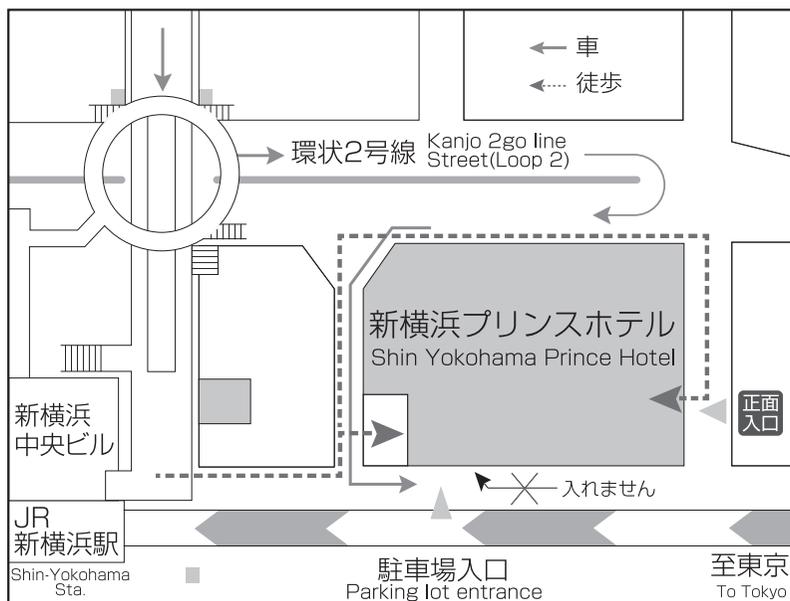
横浜市立大学 消化器内科学教室内

TEL：045-787-2326

FAX：045-787-2327

案内図

新横浜プリンスホテルのご案内



〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4

TEL：045-471-1111（代表）

[交通] ◎電車で

JR・横浜市営地下鉄（ブルーライン）

「新横浜駅」から徒歩 約2分

◎車で

東名高速道路「横浜青葉I.C.」 約25分（平常時）

第三京浜道路「港北I.C.」 約5分（平常時）

羽田空港より直行バス 約40分（平常時）

◎駐車場

台数に限りがありますが、新横浜プリンスをご利用下さい。

※当日は周辺道路の混雑が予想されます。なるべく公共交通機関をご利用下さい。

<会員の皆様へのご連絡>

○当日会場整理費として1,000円を徴収させていただきますのでご了承下さい。

○年会費未納の方、当日受付にてお納め下さい。

日本医師会生涯教育講座 取得単位 2.5単位

カリキュラムコード・27：黄疸

28：発熱

51：嘔気・嘔吐

53：腹痛

54：便通異常（下痢、便秘）

<演題発表に関するご注意>

- 1) ワークショップの講演時間は10分とし、講演7分、質疑3分とします。
- 2) 一般演題の講演時間は7分とし、講演5分、質疑2分とします。
- 3) 発表は全てパソコンを使用する形式といたします。つきましては、パソコンによる発表の方法を以下の通りご案内申し上げます。

事務局ではプロジェクターを準備いたしますので、発表者はパソコン本体及びUSBメモリ・CD-Rメディアをお持ち下さい。

【パソコン使用上の注意事項】

①パソコンについての確認・必須事項

- ・会場にはWindowsパソコンを準備いたします。
- ・Macintoshパソコンの場合はパソコン本体ならびにアダプターをお持ち下さい。
- ・XGA以上の解像度を外部出力可能な機種をお持ち下さい。
- ・お持ち込みの場合は、バッテリーおよびACアダプター（電源コード）をお持ち下さい。
- ・本体に外部出力用端子（アナログD-subミニ15ピンRGB端子）が付いている事をご確認下さい。無い場合は付属の外部接続用変換ケーブルをお持ち下さい。
- ・発表するDATAは全て（動画のリンク等も含め）すぐわかる位置に保存してある事を確認して下さい。
- ・スクリーンセーバー等の設定をお切り下さい。また、自動で立ち上がるウイルス対策ソフト等の設定もお切り下さい。
- ・パソコン立ち上げ時のpassword設定は解除しておくか、PCオペレーターにその旨ご教示下さい。

②学会準備PC環境（他のPCにて動作確認を行って下さい。）

- ・画面サイズ：XGA (1,024 × 768)
- ・OS：Windows 10
- ・アプリケーション：Power Point 2007以降に対応しております。
- ・使用フォント：Windows標準搭載フォント（MSゴシック、MS明朝、Times New Roman、Arialなど）
- ・データ容量：10MB程度（動画データがある場合は50MB程度）
- ・搭載ドライブ：DVD-RAM、CD-R

③パソコンの確認には時間がかかりますので発表時間の30分前にはPC受付にて確認をお済ませ下さい。

- 4) 抄録は神奈川医学会雑誌に掲載いたします。抄録に変更がある場合は再提出して下さい。再提出の場合は以下の要領をお願いします。
 - ①抄録はA4版縦の横書き（20×20字の400字）でワープロ作成して下さい。
 - ②所属、演者名含め600文字以内でまとめて下さい。

15:02～15:32 コーヒーブレイク時に別室4階「若菜」にて評議員会を開催いたします。
評議員の先生方をご出席くださるようお願いいたします。
また、コーヒーブレイク時に会場にてお飲み物をご用意いたします。

展示のご案内

展示時間：13:00～17:54

展示場所：新横浜プリンスホテル 4階 学会会場前ロビー

オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

ニッターボーメディカル株式会社

ニプロ株式会社

富士フィルムメディカル株式会社

評議員会開催のお知らせ

日 時：11月30日(土) 15:02～15:32

場 所：新横浜プリンスホテル 4階「若菜」

第52回 神奈川県消化器病医学会総会

◆ 総合事務局 (昭和大学藤が丘病院 消化器内科)

統括責任者 長濱 正亞

(昭和大学藤が丘病院 消化器内科 教授)

TEL：045-971-1151

◆ 総会事務局 (当日)

新横浜プリンスホテル 4階 411号会議室

TEL：045-471-1111 (代表)

一般演題『肝』 13:05 ~ 13:47

座長 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器内科 守屋 聡

① 実臨床における8週間のグレカプレビル・ピブレンタスビル併用療法の有効性と安全性

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科

○得平 卓也、池田 裕喜、鈴木 達也、五十嵐洋介、服部 伸洋、
渡邊 綱正、松永光太郎、伊東 文生

② HBs抗原陰性で経過した de novo B型肝炎の一例

東海大学医学部内科学系消化器内科学

○塩山 竣介、鶴谷 康太、杉山 悟、広瀬 俊治、加川 建弘

③ オンラインHDFを標準化するための医療安全上の配慮

昭和大学藤が丘病院 消化器内科

○井上 和明、上原なつみ、浅見 哲史、長瀬 正亞

④ 診断に苦慮し、造影エコー下での肝生検が有用であった肝腫瘍の一例

藤沢市民病院 消化器内科¹⁾

藤沢市民病院 病理診断科²⁾

藤沢市民病院 放射線診断科³⁾

横浜市立大学 消化器内科学教室⁴⁾

○濱田 潤¹⁾、岩瀬 滋¹⁾、合田 賢弘¹⁾、榎本 昌人¹⁾、東 大輔¹⁾、
渋井 俊祐¹⁾、阿南 秀征¹⁾、廣瀬 俊晴¹⁾、近藤 新平¹⁾、宮崎茉莉子¹⁾、
有馬 功¹⁾、稲垣 尚子¹⁾、安藤 知子¹⁾、権藤 俊一²⁾、塚本 浩³⁾、
藤井 佳美³⁾、前田 慎⁴⁾

⑤ ソラフェニブ治療で著明な腫瘍縮小が得られた進行肝細胞癌の一例

大和市立病院

○竹内 加奈、亀田 亮、厚坂 励生、浅見 昌樹、柳田 直毅、
山本 和寿

⑥ 肝細胞癌に対して体幹部定位放射線治療が奏功した1例

横浜市立大学附属病院 消化器内科

○豊田 一樹、入江 邦泰、露木 翔、三箇 克幸、桑島 拓史、
山田 博昭、金子 裕明、須江聡一郎、佐々木智彦、近藤 正晃、
前田 慎

座長 北里大学 北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター 阿曾沼邦央

⑦ 直腸SM癌の内視鏡的摘除2年後に直腸腸間膜内に局所再発を来した1例

横浜市立大学 消化器・腫瘍外科¹⁾

横浜市立大学 病理診断科・病理部²⁾

○竹之内 晶¹⁾、小澤真由美¹⁾、川島 圭¹⁾、窪田硫富人¹⁾、森 康一¹⁾、
佐藤 涉¹⁾、鈴木 紳祐¹⁾、石部 敦士¹⁾、小坂 隆司¹⁾、秋山 浩利¹⁾、
日比谷孝志²⁾、遠藤 格¹⁾

⑧ 化学療法中にアメーバ性大腸炎を併発した一例

大和市立病院 消化器内科

○厚坂 勳生、亀田 亮、竹内 加奈、浅見 昌樹、柳田 直毅、
山本 和寿

⑨ 早期のメトロニダゾール投与により保存的治療で救命し得た劇症型アメーバ性大腸炎の1例

横浜市立大学附属市民総合医療センター 内視鏡部¹⁾

横浜市立大学 消化器内科学教室²⁾

○西尾 匡史¹⁾、平澤 欣吾¹⁾、前田 慎²⁾

⑩ 原発性小腸軸捻転症により絞扼性イレウスとなった1例

横浜南共済病院 消化器内科

○中山 泉、竹田 雄馬、中村 洋介、西脇 友紀、渡部 衛、
吉村 勇人、日下恵理子、鈴木 悠一、天野 仁至、飯谷 槇、
西郡 修平、吉村 築、小柏 剛、濱中 潤、岡 裕之、
岡崎 博

⑪ 小腸閉塞を来した空腸DLBCLの一例

昭和大学医学部内科学講座 消化器内科学部門(藤が丘病院)

○鈴木 怜佳、黒木優一郎、浅見 哲史、長田 真二、岩橋 健太、
新谷 文崇、小澁 尚子、吉田詠里加、宮尾 直樹、東畑美幸子、
遠藤 利行、上原なつみ、花村祥太郎、高野 祐一、五味 邦代、
山本 頼正、井上 和明、長濱 正亞

ワークショップ ————— 14:22 ~ 15:02

『高齢者に対する内視鏡診療の現状と課題』

座長 昭和大学藤が丘病院 消化器内科 山本 頼正

W① 横浜市における対策型胃がん内視鏡検診の現状と課題

横浜消化器内視鏡医会¹⁾

横浜栄共済病院²⁾

○安西 春幸¹⁾、田村 聡¹⁾、川瀬 定夫¹⁾、細川 治^{1,2)}

W② 高齢者の早期胃癌にESDを施行し、非治癒切除であった症例についての検討

北里大学医学部 消化器内科学¹⁾

北里大学医学部 新世紀医療開発センター²⁾

○北原 言¹⁾、和田 拓也¹⁾、田邊 聡²⁾、久保田 陽¹⁾、近藤 雄紀¹⁾、
渡邊 晃識¹⁾、石戸 謙次¹⁾、東 瑞智¹⁾、堅田 親利¹⁾、小泉和三郎¹⁾

W③ 胆膵内視鏡のスコープ挿入に伴う消化管損傷の検討 - 高齢者は消化管損傷のリスクとなるか -

昭和大学藤が丘病院 消化器内科¹⁾

小田原市立病院 消化器内科²⁾

○高野 祐一¹⁾、小林 孝弘¹⁾、新谷 文崇¹⁾、丸岡 直隆²⁾、長瀨 正亞¹⁾

W④ 高齢者十二指腸ステント留置症例の検討

大船中央病院 消化器・IBDセンター

○吉田 篤史、大庭 優士、鍋田 陽昭、森川 吉英、上野 文昭、
遠藤 豊

————— [コーヒープレイク] (15:02 ~ 15:32) —————

総会 ————— 15:32 ~ 15:42

神奈川県消化器病医学会 会長 前田 慎

特別講演 ————— 15:42 ~ 16:32

座長 昭和大学藤が丘病院 消化器内科 長瀨 正亞

「人工知能を用いた医療デバイスの開発～肝胆膵領域を中心に～」

国立がん研究センター 東病院 肝胆膵内科 橋本 裕輔

座長 菊名記念病院 消化器内科 西元 史哉

⑫ 悪性貧血を伴うA型胃炎3例についての臨床的検討

横浜保土ヶ谷中央病院 消化器内科

○湯川 達、三留 典子、榊原 俊哉、神野 正智、藤井 彩子、
京 里佳

⑬ 急性腸炎から門脈炎をきたし、敗血症に至った一例

昭和大学医学部内科学講座 消化器内科学部門(藤が丘病院)

○小澁 尚子、遠藤 利行、浅見 哲史、長田 真二、岩橋 健太、
新谷 文崇、宮尾 直樹、吉田詠里加、東畑美幸子、鈴木 怜佳、
上原なつみ、花村祥太郎、高野 祐一、五味 邦代、黒木優一郎、
山本 頼正、井上 和明、長濱 正亞

⑭ 肝硬変に合併した、上腸間膜静脈血栓症の一例

菊名記念病院 消化器内科¹⁾

菊名記念病院 放射線科²⁾

昭和大学藤が丘病院消化器内科³⁾

○松原 大¹⁾、中村 仁紀¹⁾、佐藤 知己¹⁾、西元 史哉¹⁾、橋爪 崇²⁾、
松尾 瑤子³⁾

⑮ 転倒後に肝嚢胞破裂・嚢胞内出血をきたしTAEで止血した一例

済生会横浜市南部病院 消化器内科

○松岡 裕人、石井 寛裕、芝山 幸祐、山城 謙人、佐藤 博紀、
濱口 智美、金丸 雄志、小野寺 翔、西村 正基、萬納寺英里、
所 知加子、菱木 智、川名 一朗、竹林 茂生

⑯ 腹痛を主訴に来院した若年者の正中弓状靭帯圧迫症候群の1例。

聖マリアンナ医科大学 東横病院 消化器病センター¹⁾

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科²⁾

○吉田 良仁¹⁾、落合 康利¹⁾、原 雅樹¹⁾、川島垂貴¹⁾、五十嵐央祥¹⁾、
黄 世揚¹⁾、中嶋 孝司¹⁾、伊東 文生²⁾

座長 昭和大学藤が丘病院 消化器内科 高野 祐一

⑰ 胆管プラスチックステントによる十二指腸穿孔の1例

東海大学医学部医学科内科学系消化器内科学

○小玉 敏生、川西 彩、西原 翼、高橋 彩織、石田 理恵、
杉山 悟、山路 葉子、川島 洋平

⑱ 遺伝性BRCA変異陽性膵癌にプラチナ製剤を投与した1例

神奈川県立がんセンター

○長島 周平、上野 誠、佐野 裕亮、河野 邦幸、田中 聡、
福島 泰斗、浅間 宏之、小林 智、森本 学

①⑨ EUS-FNAにて診断しえた脾症の1例

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科¹⁾
独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター 消化器内科²⁾
聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 消化器・肝臓内科³⁾
聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 病理診断科⁴⁾

○藤田 曜¹⁾、中原 一有¹⁾、松田 浩二²⁾、小澤俊一郎³⁾、路川 陽介¹⁾、
森田 亮¹⁾、末谷 敬吾¹⁾、未永 大介¹⁾、辻 顕介¹⁾、中本 悠輔³⁾、
相田 芳夫⁴⁾、伊東 文生¹⁾

①⑩ MRIでの検出が困難であったIPMN併存膵癌の一例

藤沢市民病院 消化器内科¹⁾
藤沢市民病院 外科²⁾
藤沢市民病院 放射線診断科³⁾
横浜市立大学 消化器内科学教室⁴⁾
藤沢市民病院 病理診断科⁵⁾

○阿南 秀征^{1,4)}、合田 賢弘^{1,4)}、榎本 昌人^{1,4)}、東 大輔^{1,4)}、
渋井 俊祐^{1,4)}、瀧田 潤^{1,4)}、廣瀬 俊晴^{1,4)}、近藤 新平^{1,4)}、
宮崎茉莉子^{1,4)}、有馬 功^{1,4)}、稲垣 尚子^{1,4)}、安藤 知子^{1,4)}、
浅野 史雄²⁾、南 裕太²⁾、山岸 茂²⁾、鈴木美奈子³⁾、榎藤 俊一⁵⁾、
岩瀬 滋^{1,4)}、前田 慎⁴⁾

①⑪ 胆道出血と閉塞性黄疸をきたした腎癌膵転移の一例

昭和大学藤が丘病院 消化器内科

○山脇 将貴、高野 祐一、新谷 文崇、小林 孝弘、長瀨 正亞

①⑫ 出血性脳転移を発症した膵癌の症例

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター¹⁾
横浜市立大学附属病院 消化器内科学²⁾

○宮澤 明子¹⁾、土屋 洋省¹⁾、鈴木 良優¹⁾、戸塚雄一朗¹⁾、佐藤 健¹⁾、
三輪 治生¹⁾、金子 卓¹⁾、杉森 一哉¹⁾、沼田 和司¹⁾、前田 慎²⁾

閉会の辞 17:49 ~ 17:54

当番世話人 昭和大学藤が丘病院 消化器内科 長瀨 正亞